

信濃川大河津資料館友の会だより

新旧可動堰・大河津分水路見学ツアー

越後を守る治水の要「大河津分水」。着工から100年が経ち、度重なる洪水は可動堰に大きなダメージを与えています。そこで、平成15年から可動堰を改築する工事を行っています。今日も越後平野を守る可動堰、そしてこれから越後平野を守ることになる可動堰。この2つの可動堰を見学するツアーです。大河津分水の可動堰を見学してみませんか？

日時：6月28日（土）10：00～12：00
 集合：9：50までに信濃川大河津資料館へ集合
 費用：1,100円（保険代、バス代）
 弁当：700円（希望の方は受け付けます）
 定員：25名（定員に達し次第締め切ります）

※座席数、費用の面から当日のご参加を受け付けることができません。必ず事前にお申し込み下さい。

バスツアー・梓川・上高地 事前学習会

6月28日（土）に“バスツアー・梓川・上高地事前学習会”を行います。バスツアーのポイントや行程確認、役割分担などを決めます。バスツアー参加者以外でも参加できますので、ぜひご参加下さい。

日時：6月28日（土）13：00～15：30
 会場：信濃川大河津資料館2F 多目的ホール

バスツアー・梓川・上高地

7月5日（土）、6日（日）にバスツアー・梓川・上高地を行います。信濃川上流の梓川・上高地を視察し、関係施設を巡ります。越後平野とのつながりや上流域の水害、砂防の歴史などを勉強してみませんか？

日時：7月5日（土）、6日（日）
 出発：7月5日（土）7：00（資料館）
 到着：7月6日（日）19：00 予定（資料館）
 参加費：26,000円
 定員：20名

※上高地ではトレッキングする予定です。歩きやすい靴や服装でお願いします。

※座席数、費用の面から当日のご参加を受け付けることができません。必ず事前にお申し込み下さい。

バスツアー・梓川・上高地 探訪報告会と 双書発刊に伴う講演会

1部の“探訪報告会”では“バスツアー・梓川・上高地”で視察した箇所を写真やスライドで紹介し、バスツアーに参加された皆さんから感想などを報告していただきます。

2部の“双書発刊に伴う講演会”では大河津分水双書第8巻『田園型政令市「新潟」の誕生』の発刊を記念して、執筆者である五百川清さん（前信濃川大河津資料館長）をお迎えし、講演会を開催します。

日時：7月19日（土）
 1部 13：30～14：20
 2部 14：30～16：30
 会場：信濃川大河津資料館2F
 定員：60名

今号から出欠葉書は同封いたしません。総会等で意見が出されたもので経費節約にご協力下さい。講座への参加を希望される方は、【講座名・氏名・住所・連絡先・参加人数】を友の会事務局までご連絡下さい（TEL.0256-97-2195 FAX.0256-97-2196）。定員に達し次第締め切らせていただきますのでご了承下さい。

イベント報告

お茶を楽しむ会

4月19日(土)、資料館4F展望室にてお茶を楽しむ会を開催しました。天気も良く、雄大な大河津分水の景色を眺めながらのお茶会に、来館者の皆さんから楽しんでいただきました。



大河津分水紙芝居

4月19日(土)資料館2Fにて友の会会員の片桐さんから大河津分水紙芝居を披露いただきました。農具や朗読などを取り入れた内容に会員の方から“素晴らしかった”と感想をいただきました!



友の会総会

5月17日(土)、大河津出張所にて友の会総会を行いました。平成19年度友の会事業と会計決算、平成20年度友の会事業と予算案が協議されました。詳しくは同封しました「友の会総会議事録」をご覧ください。



可動堰改築事業の状況について

友の会総会終了後、信濃川河川事務所副所長の弘田英人さんより可動堰改築事業の状況について講演いただきました。現在行われている工事の様子など詳しく説明していただきました。

今号の可動堰

新可動堰完成に向けて、可動堰周辺の定点撮影を紹介します。

前号で仮囲いされていた堰柱2基も完成し、構造物の姿を見ることができるようになりました。現在は、10月以降に工事が行われる堰柱3基の基礎杭工事や堰上下流の護岸工事が行われています。

また、7月から9月は洪水期のため大型機械は撤去し、工事は休止されます。



右岸堰軸から撮影
(平成20年6月12日撮影)



右岸堰軸から近景を撮影
(平成20年6月12日撮影)

6月28日(土)の講座では、実際に工事を行っている現場の中へ入り新可動堰の建設を間近に見ることができます!詳しくは1ページをご覧ください。

信濃川大河津資料館支援活動

友の会では“信濃川大河津資料館支援活動”を行い、資料館のお手伝いをしています。皆さんも資料館のお手伝いをしませんか？会員の方と交流するきっかけになりますよ！

①プランターへの花植え協力

“資料館の玄関前はちょっと寂しい…” “資料館の玄関がわからない。” そんな声がたまに聞かれます。そこで、玄関前のプランターに花を植えて綺麗にしましょう！花植えや草取りなどのお手伝いをしてみませんか？



②発送作業のお手伝い

年4回発行している“友の会だより”。宛名ラベル貼りや資料の印刷など、友の会だよりの発送作業のお手伝いです。次号は9月発行予定です！ぜひお手伝いをお願いします！！



③サケ汁を楽しむ会の協力

10月11日（土）に予定している“サケ汁を楽しむ会”では、大河津分水路を遡ったサケでサケ汁を作り、来館者の皆さんに楽しんでいただきます。当日のサケ汁作りを協力してくださる方、サケ汁の材料を提供してくださる方を募集しています。ご協力いただける方は友の会事務局までご連絡下さい！！



④発表会参加者の募集！

11月22日（土）に予定している“川の物語発表会”では、信濃川などの川にちなんだ歌や踊り、身近な川を調べた結果などを発表いただきます。歌や踊り、調査結果などを発表していただける会員を募集しています。発表を希望される方は友の会事務局までご連絡下さい！！



他にも『資料館の展示ガイドができる』『大河津分水の写真を持ってる人がいるよ』など、案内ガイドや情報提供も募集しています！



恙虫病物語

友の会会員 原 銑之助

赤いアーチの本川橋を燕市から長岡市に向かって渡り切り、左に折れると数分のうちに車は西野集落に至る。医学の先賢西洋医の元祖 入沢恭平、池田謙斎の行績を顕彰する詩碑がたっている西野神社、その堤防の対極に西野虫除け不動尊が鎮座している。

大正末期から昭和初期にかけて西野の人々は三条、長岡方面に西瓜を出荷するため大童^{おおわらわ}であった。それは信濃川の付州が豊穡であり、作物が美味であったからである。しかし猛毒の恙虫の発生地帯のため、ある年 43 戸のうち 19 名が罹病し死者 10 名となった。その殆どが働き盛りの若者なのである。故郷の惨状を聞き東京で成功していた、久住勝平は昭和 19 年 11 月虫除けで名高い成田不動尊の御神体を像に刻み、奥の院の土砂の分譲をうけて瓶に納め、地下に安置して御堂を建立した。毎年 6 月 15 日に供養祭が行われている。当時の医学では治療の方法なく、神に縋^{すが}り仏に祈る以外術がなかったのである。

信濃川の右岸に中条集落がある。300 に近い戸数である。歴史は古く、最初の開拓者は和同 3 年と記録にある。全ては川によって発展し、川によって多くの恩恵をうけた。だが、一度怒り狂うと家屋数を押し流し人命すら奪うのであった。そしてその後には洪水病と稱する原因不明の熱病が万延し、手の施しようなく村人は島虫神様として川辺に手頃の石を積んで嵐の過ぎ去るのを待つしかなかった。川の流れは蛇行し、猿橋川の延長により島神様もその度に遷座をくり返し、現在は中条総鎮守日枝神社の境内にあり、講中の人達により祭典が行われている。縷縷と掲示板はその経緯を傳えている。



大河津分水を伝えよう！！

友の会会員 吉川 由利子

「小学生の時、大河津分水へ行ったよ！」私が資料館で働いていることを話すと、友達が嬉しそうに言ってくれました。15 年以上経った今でも、大河津分水へ来たこと、資料館の屋上で説明を聞いたことを覚えているのです。

私が資料館に勤務をして 5 年が経ち、多くの来館者へ説明をさせていただきました。“私たちの身近にある信濃川、大河津分水”をもっと知ってもらいたい。そう思っています。その身近にある信濃川、大河津分水の背景には、水害に苦しんでいた越後平野に住む人々、大河津分水を作ろうと立ち上がった人々の想い、大工事に従事した人々の苦勞、先人たちの想いがたくさんあるのです。その先人から受継いだ想いを未来へ伝えることができたらと思っています。資料館へ見学に来てくれる方に少しでも大河津分水を知ってもらおう“きっかけ”のお手伝いが私にできたら嬉しいです。

秋になると資料館には小学生が総合学習でたくさん訪れます。彼等が 10 年、15 年経った時、大河津分水へ来たこと、先人たちの大河津分水への想いを覚えていてくれることを願って大河津分水を伝えて行きたいです。そして、私が説明したことも覚えていてくれたら…と、何年か先を楽しみにしています。

次のご指名は中村庄平さんと高木正伸さんです。